

**歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会報告会(要旨)**

調査テーマ

**「歴史・文化の保存計画から活用方法の検討について」**

半田市には、多くの歴史・文化資源が点在しており、多くの人々の営みの中で受け継がれています。これらは、まちのプロモーションの核となる観光資源であると同時に、世代を超え地域の繋がりを生み出す「コミュニティ」の基盤でもあります。しかしながら、歴史・文化の担い手不足や関心の低下など、歴史・文化を取り巻く課題が顕在化しています。

このような状況を踏まえ文化庁が薦める「文化財保存活用地域計画」策定に取組む自治体が二百ほどあります。この中から、茨城県牛久市、千葉県我孫子市、愛知県内は南知多町と蟹江町を視察しました。また、日本福祉大学教授の曲田浩和氏を講師に、歴史・文化の特色を活用したまちづくりについて勉強会を行いました。この視察と勉強会を終えて、委員から次のような意見がありました。

歴史と文化を守り次世代へと繋げていくことを目的として「文化財保存活用地域計画」を策定すべきである。

計画策定にあたっては歴史・文化の活用したまちづくりのブランドデザインを明確にし、それに基づいた物語

を作成する必要がある。

上位計画や関連計画と連動し、文化財の保存だけでなく、観光・教育・防災など多分野と連携した包括的なまちづくりを推進する必要がある。

文化財の調査研究や情報発信を積極的にを行い、地域の歴史・文化への関心を高め、観光資源としての価値を創出する取組みが必要である。

牛久市の散策マップであるヘルスロード我孫子市の取組みである「ちよこつとリップ」のような取組みを導入すべきである。

このような意見を踏まえ、3月定例会で、以下の提言をしました。

○文化財保存活用地域計画を策定してください。

○計画策定にあたって、行政・専門家・市民団体等の多様な主体を取り入れた協議会を設置して進めてください。

○市民アンケートやワークショップ等を活用し、市民とともに計画を策定できるような体制を整備してください。

○歴史・文化や地域コミュニティの担い手を育てることを目的に、住んでいる地域に親しみを持ってもらえるような取組みを行ってください。

結びに、先人が残した半田市の財産を次世代に繋ぐためにも、関連機関の連携を十分に図り、「文化財保存活用地域計画」の策定により、シビックプライドの醸成に繋がっていただくようお願い申し上げます。

全議員22名が学び情報を共有

今後の議会活動に活かす!

**議員勉強会を行いました**

開催日 3月6日(木)

テーマ

**知多半島総合医療センター、防災広場について**

開院前の、知多半島総合医療センターでは、施設の概要について説明を受けた後、病院内を見学し、新しい医療提供体制を理解するとともに、市民の安心につながる医療環境について考える機会となりました。また災害時に外部支援等の活動拠点となる防災広場の整備状況を視察しました。

学びのポイント

1. 地域医療を支える施設としての役割について
2. 最新の医療設備と患者に配慮した病院設計について
3. 地方独立行政法人化による運営の変化について



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」



勉強会の様子



半田中央防災倉庫